

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年 4月 1日

事業所名 山県市ピッコロ療育センター

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---------|----|--|----|-----|--|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 4 | 0 | ・利用者の特性や活動内容を工夫しスペースを有効に活用している。 | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 4 | 0 | ・適切である。 | ・職場環境の充実のため、令和6年4月に1名採用。 ・仕事内容、時間の使い方について、更に検討をしていく。 |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 3 | 1 | ・広く利用できるよう使用するものだけ用意しておく。 ・洋式トイレと多目的トイレが設置された。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 4 | 0 | ・来所児には必ず手洗いをするように協力していただいている。 ・感覚遊具等は活動にあわせてその都度配置している。 ・興味にあわせた教材を使い、療育を行っている。 ・毎日掃除や消毒を行っている。 ・窓の開放での換気や空気清浄機等も活用している。 | ・今後も心地よく過ごせるような環境を維持していく。 ・子どもの特性や活動内容に合わせた環境設定の工夫を続けていく。 |
| 業務改善 | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 4 | 0 | ・職員会で意見を出し合っている。 | ・継続していく。 |
| | 6 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 4 | 0 | ・評価表を活用したり、保護者との話し合いや語る会等で意見を聞いたりしている。 | ・継続していく。 |
| | 7 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 4 | 0 | ・継続して事業所評価を行い、公表している。 | ・今後に活かしていけるよう、課題の検討を職員全員で行う。 |
| | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 1 | 3 | ・第三者委員を依頼し、氏名と電話番号を掲示している。 | ・第三者委員会は実施していないので前向きに検討したい。 |
| | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 4 | 0 | ・必要に応じて研修会に参加している。 ・職員会でケース検討会を実施し関わりや支援方法を確認している。 | ・引き続き、研修会参加の日程調整や研修報告等の時間の確保をしていく。 |
| | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | 4 | 0 | ・児童発達管理責任者と担当指導員が保護者のニーズや課題、本人の状態や様子を聞き取り、支援計画を作成している。 | ・継続していく。 |
| | 11 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 2 | 2 | | ・アセスメントツールは使用していないため、活用できるように検討する。 |
| | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 4 | 0 | ・具体的に目標を立てるよう心がけている。 | ・継続していく。 |
| | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 4 | 0 | ・支援計画外でも子どもの状態に合わせて支援を実施している。 | ・継続していく。 |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|---|---------------------------|
| 適切な支援の提供 | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 4 | 0 | ・集団活動を行う前は事前に打ち合わせを行っている。 ・活動計画はその都度職員間で検討をしている。 | ・継続していく。 |
| | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 4 | 0 | ・子どもの実態に応じて内容を考え対応している。 | ・継続していく。 |
| | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | 4 | 0 | ・作成している。 | ・継続していく。 |
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 4 | 0 | ・支援内や役割分担の確認を行っている。 | ・継続していく。 |
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 4 | 0 | ・記録をした後は次回活動を考えている。 ・集団を行った職員同士意見交換をしている。 | ・継続していく。 |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 4 | 0 | ・毎回必ず記録をとっている。 | ・記録をとる時間を確保できるようにしていく。 |
| | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 4 | 0 | ・半年に一回のモニタリングを行い、見直しを行っている。 | ・継続していく。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 2 | 2 | ・サービス担当者会議には参加していないが、相談支援専門員と連携しながら支援を行っている。 | ・参加できるよう検討していく。 |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | 4 | 0 | ・関係機関や保健師と連携を取り支援を進めている。 | ・継続していく。 |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | 1 | 2 | ・現在、対象児はいない。 ・療育センターや学校訪問を行っている。 | ・継続していく。 |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | 1 | 2 | ・現在、対象児はいない。 | ・連携の仕方や内容について検討していく。 |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 4 | 0 | ・支援連携会を行っている。 ・園訪問を行い情報共有をしている。 | ・継続していく。 |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 4 | 0 | ・幼保小連携協力会に参加している。 | ・継続していく。 |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 3 | 1 | ・研修会に参加している。 | |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 2 | 1 | ・どの子ども幼稚園や保育園に通園し関わっている。 | |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | 4 | 0 | ・参加する職員を決めている。 | ・職員会で報告が受けれるように毎回時間を確保する。 |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 4 | 0 | ・療育終了後に保護者との懇談時間を確保している。 | ・継続していく。 |
| | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | 3 | 1 | ・親子活動を行い職員が関わり方の見本を見せている。 | ・継続していく。 |
| | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 4 | 0 | ・契約を交わす時に個別に説明している。 ・運営規程等は掲示してある。 | ・今後も説明後は質問等がないかを確認する。 |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 4 | 0 | ・個別支援計画は保護者に説明をし同意を得ている。 | ・継続していく。 |

| | | | | | | |
|------------|--|--|---|----------------------------|---|--|
| 保護者への説明責任等 | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 4 | 0 | ・療育終了は毎回保護者との懇談を行っている。 ・個別に相談がある場合はその都度対応している。 | ・個人情報の取り扱いを十分注意する。 |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 4 | 0 | ・保護者同士が出会える場を確保している。 | ・親の会はないが、今後も親さんと語る会や各行事で保護者同士の連携が図れるようにしていく。 |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 4 | 0 | ・療育時間以外でも対応できるようにしている。 | ・継続していく。 |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 4 | 0 | ・年度初めに1年間の行事予定を通信で知らせている。 ・行事やお知らせ等は掲示板にて知らせている。 | ・今後も掲示だけでなく療育のある日に個別に知らせる。 ・早めの掲示を心がける。 |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している | 4 | 0 | ・個人情報は持ち出さないようにしている。 ・職員間で個人情報取り扱いの徹底を図っている。 | ・継続していく。 |
| | 39 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 4 | 0 | ・配慮している。 | ・子どもや保護者に合わせて伝え方を工夫していく。 |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 3 | 1 | ・民生委員、ライオンズクラブの方々を行事に招待している。 | ・継続して参加していただく。 |
| | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | 4 | 0 | ・周知している。 | ・安全計画に沿って、訓練・研修を行っていく。 |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 4 | 0 | ・定期的に避難訓練を行っている。 ・職員の消火訓練を行っている。 | ・継続していく。 |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | 4 | 0 | ・家庭調査票にて職員で把握できるようにしている。 | ・継続していく。 |
| 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 1 | 2 | ・保護者からの聞き取りや幼保との連携で把握している。 | ・食事の提供はしていないため、把握のみとなっている。 | |
| 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 3 | 1 | ・職員会で確認をしている。 | ・今後もヒヤリハットが起きないように常に気をつける。 | |
| 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 4 | 0 | ・研修会に参加している。 | ・今後も職員全員が意識できるよう心がける。そのための情報共有も行っていく。 | |
| 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 3 | 1 | ・現在、必要な子はいない。 | ・身体束縛は行っていない。 ・必要に応じて適切に対応していく。 | |

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。